障害者支援とごみ減量・資源化の取組み

平成27年10月より、市では障害者の就労機会の拡大・自立支援を図るため、ごみ減量推進課にごみの減量と資源化に関わる分別・仕分け作業に２名の職員が従事しています。これまで、小型家電分解分類作業や不燃ごみ仕分け処理作業等に取り組み、平成28年10月よりざつがみばっぐの製作作業も行っています。

主な作業内容

小型家電分解分類処理

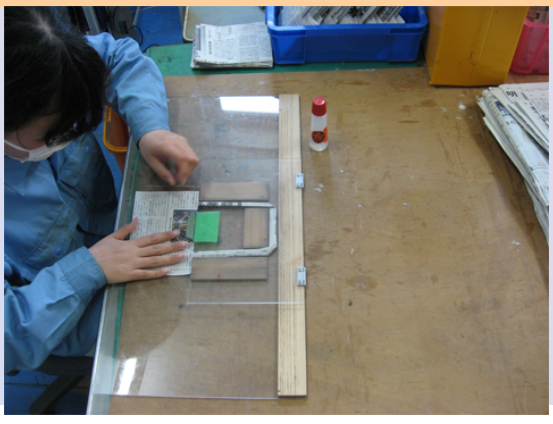
小型家電を分解して電子基板、金属類等を分類しています。より付加価値を高めて資源化を行っています。

不燃ごみ仕分け処理

CD･DVD製品(不燃ごみ)を仕分け処理して、紙、プラスチック等に分類・資源化することで不燃ごみの減量を推進します。

ざつがみばっぐ製作・提供

『ざつがみばっぐ』の製作は、この２名の職員を中心に製作されています。
提供枚数は、3000枚(累計)を超えました。



製品の精度を保ち効率よく製作できるよう製作器具を内製しています。

【 ざつがみばっぐ 】

『ざつがみばっぐ』は、高さ29㎝、幅24㎝、奥行15㎝の新聞紙約3枚と糊で作られている紙袋です。
雑がみ類をまとめて片付けて資源化できる紙袋として提供しています。

※ 『ざつがみばっぐ』は、市役所両庁舎、総合案内横に設置されている専用BOXに毎週一定セット供給しています（お1人様2枚組1セット）
希望者多数の場合には提供できない場合もありますのでご了承ください。

●雑がみ類

チラシ
メモ用紙等

箱類：
たばこ・お菓子・食品
ティッシュペーパー等

ラップの芯等

【 雑がみで出せないもの 】

- ○ 防水加工された紙（紙製の食品容器、紙コップなど）
- ○ カーボン紙、ノーカーボン紙（宅配便の複写伝票など）
- ○ 圧着はがき（親展はがき）
- ○ 感熱紙（ファックス用紙、レシートなど）
- ○ 捺染紙（なっせんし）（アイロンプリント紙。主に絵柄など布地に加熱してプリントする際に使用される紙）
- ○ 臭いのついた紙（石鹸の包装紙、洗剤、線香の紙箱）

紙製の食品容器

洗濯用芳香剤

洗濯洗剤

ざつがみばっぐを作ろう！ 製作講座を開催しています

《 この製作講座は定期的に開催する予定です 》

次回日時：平成29年3月16日(木) 午後1時30分から午後4時まで
場所：エコプラザ西東京　多目的ホール
対象：市内在住、在勤、在学の中学生以上の方
　　定員20名(応募者多数の場合は抽選になります)
持ち物：赤ボールペン・自前の新聞紙を使用する場合は、新聞紙2枚をお持ちください。
応募方法：住所・氏名・年齢・電話番号をはがきまたはEメールで3月7日(火)(消印有効、Eメールは午後5時)までにお申込ください。

詳しくは、市ホームページ、市報3月1日号をご覧ください。